

## 2025年度 研究助成 公募情報

(必ず募集団体のホームページの内容をご確認ください。)

NO.365	<a href="#">第51回（令和8年度）井上春成賞</a>
研究助成等団体名	<a href="#">国立研究開発法人科学技術振興機構（井上春成賞委員会）</a>
団体締切日	2026年2月27日（金）※推薦書データは同 日正午必着 (推薦書原本及び付属書類は郵送にて2月27日（金）の消印有効)
助成対象者	研究者あるいは企業等のうち、少なくとも一方が日本国籍である組み合 わせにより企業化された技術であることを要件とします。
助成金額・件数	<p><b>【表彰内容】</b> 表彰対象の研究者 賞状、賞牌、研究奨励金200万円</p> <p><b>【表彰件数】</b> 原則として2件</p> <p><b>【授賞者】</b> 原則として、表彰対象技術ごとの研究者1名および企業代表者1名</p>
助成事業概要等	<p><b>【井上春成賞の趣旨】</b> 井上春成賞は、大学等や研究機関などの独創的な研究成果をもとにして 企業が開発、企業化した応募の中から特に優れたものを表彰する賞で す。科学技術の進展に寄与し、快適な社会の形成、経済の発展、健康福 祉の向上などに貢献したものを選考の趣旨とします。</p> <p><b>【対象技術】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 大学等や研究機関などの独創的な研究結果であること</li> <li>(2) 前項の研究結果を受けて企業が開発し、企業化した技術（販売実 績があるもの）であること (研究段階から開発、企業化まで自社のみで行ったもの並びに研究 者および企業等の両者が外国籍の場合は対象となりません。)</li> <li>(3) 科学技術の進展に寄与し、快適な社会の形成、経済の発展、健康 福祉の向上などに貢献した技術であること (中堅・中小企業技術の場合、技術上の特徴、市場特性についても 別途考慮します。)</li> <li>(4) 企業が実質的販売活動を始めてから、原則5年以内の技術である こと 但し、短期間では成果が出にくい分野の技術については、その特 性を考慮して、必ずしも実質的な販売活動を始めてから5年以 内の技術であることにはこだわりません。尚、広く研究開発を奨励 するために、大河内記念賞、日本産業技術大賞、市村産業賞本 賞、恩賜発明賞を受賞した技術を除きます。</li> </ul> <p>※詳細は応募要項をご確認ください。</p>
備考	※推薦者：本技術における深い知識を有する方であれば、自薦・他薦お よび役職は問いません。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。